

2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月15日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 菅野 智也 TEL 03-6809-2555
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	455	55.0	24	△49.0	24	△47.7	16	△48.0
2019年12月期第1四半期	293	—	47	—	46	—	31	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	4.15	3.98
2019年12月期第1四半期	9.28	—

- (注) 1. 当社は、2018年12月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 2019年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場株式であったため、期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,235	1,023	1,023	1,006	82.8
2019年12月期	1,267	1,007	1,007	1,006	79.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,023百万円 2019年12月期 1,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	31.0	200	5.0	197	16.4	134	8.7	34.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	3,943,900株	2019年12月期	3,942,900株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	50,000株	2019年12月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	3,893,493株	2019年12月期1Q	3,350,000株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、消費税の増税後、企業収益の改善や雇用環境の改善が緩やかに続く中、新型コロナウイルスの感染拡大が国内及び海外に影響を及ぼし、経済や金融資本市場の変動に対し注視が必要な環境が続いております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2019年12月末時点の移動系通信の契約数は、1億8,481万回線(前年同期比4.0%増)と増加が続いております(出所:総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表(2019年度第3四半期(12月末))」)。また、当社がターゲットとする働き方改革ICT市場におきましては、時間と場所に柔軟性を持たせた働き方の促進が急速に求められており、テクノロジーを積極的に活用した生産性の向上、ワークライフバランスの向上といった取り組みにより、今後益々の市場の拡大が期待されております。

このような事業環境のもと、当社は、“Smart Work, Smart Life～テクノロジーでビジネススタイルをスマートに”をミッションとして、メッセージングサービス「AIX Message SMS」及びビジネスチャットサービス「InCircle」を通じたビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業並びにAIを活用したAI Analyticsサービス「People Engagement Cloud」を運営してまいりました。

また、メッセージングサービス「AIX Message SMS」においては、ユーザーコミュニケーションの課題解決ツールとして定額制メッセージングサービス「絶対リーチ™!」の提供開始に伴い、ブランディング施策としてタクシーCM広告の先行投資を実施してまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高455,763千円(前年同四半期比55.0%増)、営業利益24,386千円(同49.0%減)、経常利益24,156千円(同47.7%減)、当期純利益16,154千円(同48.0%減)となりました。

なお、当社はビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は1,235,558千円となり、前会計年度末に比べ32,106千円減少いたしました。これは主に法人税等の支払いによる現金及び預金の減少24,213千円、ソフトウェアの減価償却による無形固定資産の減少11,200千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は211,616千円となり、前会計年度末に比べ48,927千円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少40,031千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,023,942千円となり、前会計年度末に比べ16,821千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加16,154千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、2020年12月期の業績予想については、2020年2月14日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありませんが、新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響については注視しております。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,133	810,920
売掛金	232,910	257,342
前払費用	38,089	22,807
その他	500	673
貸倒引当金	△1,814	△2,012
流動資産合計	1,104,819	1,089,730
固定資産		
有形固定資産	1,518	742
無形固定資産	91,554	80,353
投資その他の資産	69,772	64,731
固定資産合計	162,845	145,827
資産合計	1,267,664	1,235,558
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,784	126,696
未払金	55,139	51,886
未払費用	6,665	3,576
未払法人税等	46,330	6,298
前受金	17,097	14,192
預り金	3,294	3,355
その他	18,231	5,610
流動負債合計	260,544	211,616
負債合計	260,544	211,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	448,924	449,258
資本剰余金	424,924	425,258
利益剰余金	133,396	149,551
自己株式	△500	△500
株主資本合計	1,006,745	1,023,567
新株予約権	374	374
純資産合計	1,007,120	1,023,942
負債純資産合計	1,267,664	1,235,558

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	455,763
売上原価	276,252
売上総利益	179,511
販売費及び一般管理費	155,124
営業利益	24,386
営業外収益	
受取利息	3
その他	0
営業外収益合計	4
営業外費用	
為替差損	234
営業外費用合計	234
経常利益	24,156
税引前四半期純利益	24,156
法人税、住民税及び事業税	4,366
法人税等調整額	3,634
法人税等合計	8,001
四半期純利益	16,154

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。